

# 活動紹介-1 神於山シャープの森づくり

- 2006年 4月 1日：シャープ（株）が、大阪府アドプトフォレスト制度認定第1号として協定を締結。  
「神於山シャープの森づくり」開始  
4月15日：第1回植樹 クヌギ・コナラ・ヤマザクラを約1,800本混交植樹。
- 2007年 4月14日：第2回植樹 SFC創業50周年記念樹として、シダレザクラ・イロハモミジを各2本植樹。  
11月18日：第3回植樹 花と実のなる木 part-1 神於山に自生するクリ・ヤマモモ・ヤマガキなど、9種67本を植樹。
- 2010年 5月22日：第4回植樹 国際生物多様性年記念樹としてネムノキ・リョウブ・ヤブツバキ・ヤマツツジ等計5本植樹。
- 2016年 4月 1日：シャープ（株）からシャープ社友会がアドプトフォレスト制度の協定を承継・締結。
- 2018年 3月17日：第5回植樹 花と実のなる木 part-2 みかんの木 5種12本植樹。  
：内訳 [ゆら] 3本、[田口] 3本、[デコポン] 2本、[甘夏] 2本、[伊予柑] 2本



2006年 林道から見た植林予定地。ネザサの原でした。

そのネザサを刈り取って植林可能地に。



2006年4月16日撮影 植林直後の状況。林立しているのは添え木の竹です。



2018年5月26日撮影 立派な林になりました。

2018年3月、ミカンの木を12本植樹しました。

## 活動紹介 2

# フクロウの棲む森づくり

＝ 2014年から5年連続営巣し、合計12羽のフクロウが巣立ちました。＝

- 2011年：フクロウの巣箱を試作。基地近くのクスノキに設置。
- 2012年：生物多様性豊かな森づくりをテーマに、第2次里山保全活動「フクロウの棲む森づくり」を開始。  
：きしわだ自然資料館 風間学芸員・フレック研究所 西垣研究員を講師に招き、勉強会を2回開催。
- 2014年：6個架けた巣箱の内の一つに営巣。卵1個の産卵を確認するも孵化に至らず。
- 2015年：2014年と同じ木に架けた巣箱に営巣。2羽巣立つ。
- 2016年：2014・2015年連続営巣した木と、直近20mの木に巣箱を架設。  
：連続営巣した木に架けた巣箱に営巣。3羽巣立つ。  
：大阪府立大学生命環境科学研究科のフクロウのDNA調査協力開始。
- 2017年：2016年と同じ二つの木に巣箱を架設。  
：両方の巣箱に営巣。連続営巣している巣箱から1羽、その直近の巣箱から3羽、合計4羽巣立つ。  
：大阪府立大学生命環境科学研究科のフクロウのDNA調査2年連続協力継続。
- 2018年：2016年と同じ二つの木と、それから離れた二つの木の合計4カ所に巣箱を設置。  
：2年連続両方の巣箱に営巣。連続営巣している巣箱で1羽、直近の巣箱で2羽、合計3羽巣立つ。  
：大阪府立大学生命環境科学研究科のフクロウのDNA調査3年連続協力継続。



巣内の親鳥と雛 巣箱の上部に設置したウェブカメラで撮影



巣に餌を運び 振り向いて 飛び去りました。  
給餌に巣箱を訪れた親鳥 2016.4.15. 21:25 トレイルカメラで撮影



巣立った雛鳥とそれを見守る親鳥 2016.4.30 撮影



DNA採取 サンプルを採取した後、体重を図り、足環付けて巣に戻します。

※大阪府立大学のDNAサンプル採取作業は、雛を巣箱から出し、作業を終えて巣に戻すまでの一連の作業を、鳥類標識調査員(バンダー)の資格を持たれている 日本バードレスキュー協会 村濱理事長が、大阪府の許可を得て対応されています。

シャープ社友会 チーム神於山

# フクロウの棲む森づくり



2018年5月15日 DNA調査サンプル取得時撮影

シャーフ会 千一山神

# フクロウの棲む森づくり



2017年5月7日 DNA調査サンプル取得時撮影

シャープ社友会 チーム神於山

# フクロウの棲む森づくり



親鳥 2018年5月15日  
DNA調査サンプル取得時撮影

# 森の恵み



原木栽培のシイタケ



2007年に植樹したヤマモモ



天然のムベ



孟宗竹のタケノコ



2007年に植樹したクリ